

バーコードタッチリーダFMVシリーズ (FMV-BCR211)

取扱説明書

このたびは、弊社のバーコードタッチリーダ (FMV-BCR211) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、バーコードタッチリーダ (以降バーコードリーダ) の正しい取り扱い方法を理解していただくために書かれています。バーコードリーダをご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

また、本書は、お読みになったあとも大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

バーコードリーダを『安全にお使いいただくために、必ずお守りください』

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは本機の近くなど、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為 (禁止行為) であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

警告



- 万一、バーコードリーダから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチを切り、バーコードリーダのコネクタを抜いてください。煙が消えるのを確認して、弊社ハードウェア修理相談センターもしくはパーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 異物（水・金属片など）がバーコードリーダに入った場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチを切り、バーコードリーダのコネクタを抜いてください。その後、弊社ハードウェア修理相談センターもしくはパーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
- バーコードリーダを落したり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源スイッチを切り、バーコードリーダのコネクタを抜いてください。その後、弊社ハードウェア修理相談センターもしくはパーソナル製品に関するお問合せ窓口、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 出力端子へ金属などを接触させないでください。大電流が流れて発熱したり、機器を破損したりする原因となります。
- 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。発火事故などの原因となります。



- 指定された電源電圧以外では使用しないでください。機器の破損・火災・感電の原因となります。

注意



- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、非常に温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、バーコードリーダ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。
- 湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。水分やほこりが入り、故障・火災の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



- バーコードリーダを分解・改造しないでください。火災・感電などの原因となることがあります。



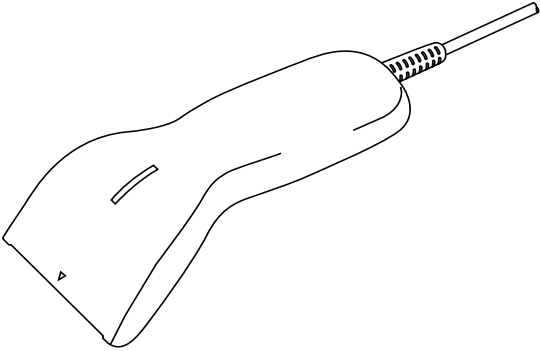
- バーコードリーダの開口部を布でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、カバーが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
- バーコードリーダの開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災の原因となることがあります。
- バーコードリーダのケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりするとケーブルが破損して火災の原因となることがあります。
- バーコードリーダのコネクタを抜くときはケーブルを引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、芯線が露出したり断線して、火災の原因となることがあります。
- バーコードリーダを振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- バーコードリーダで、肩をたたいたり、ケーブルを持って振り回さないでください。けがをしたり、故障の原因となることがあります。
- ベンジン、シンナーで拭いたり、防虫剤をかけないでください。ひび割れ、引火の原因となることがあります。

■ 本製品のハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

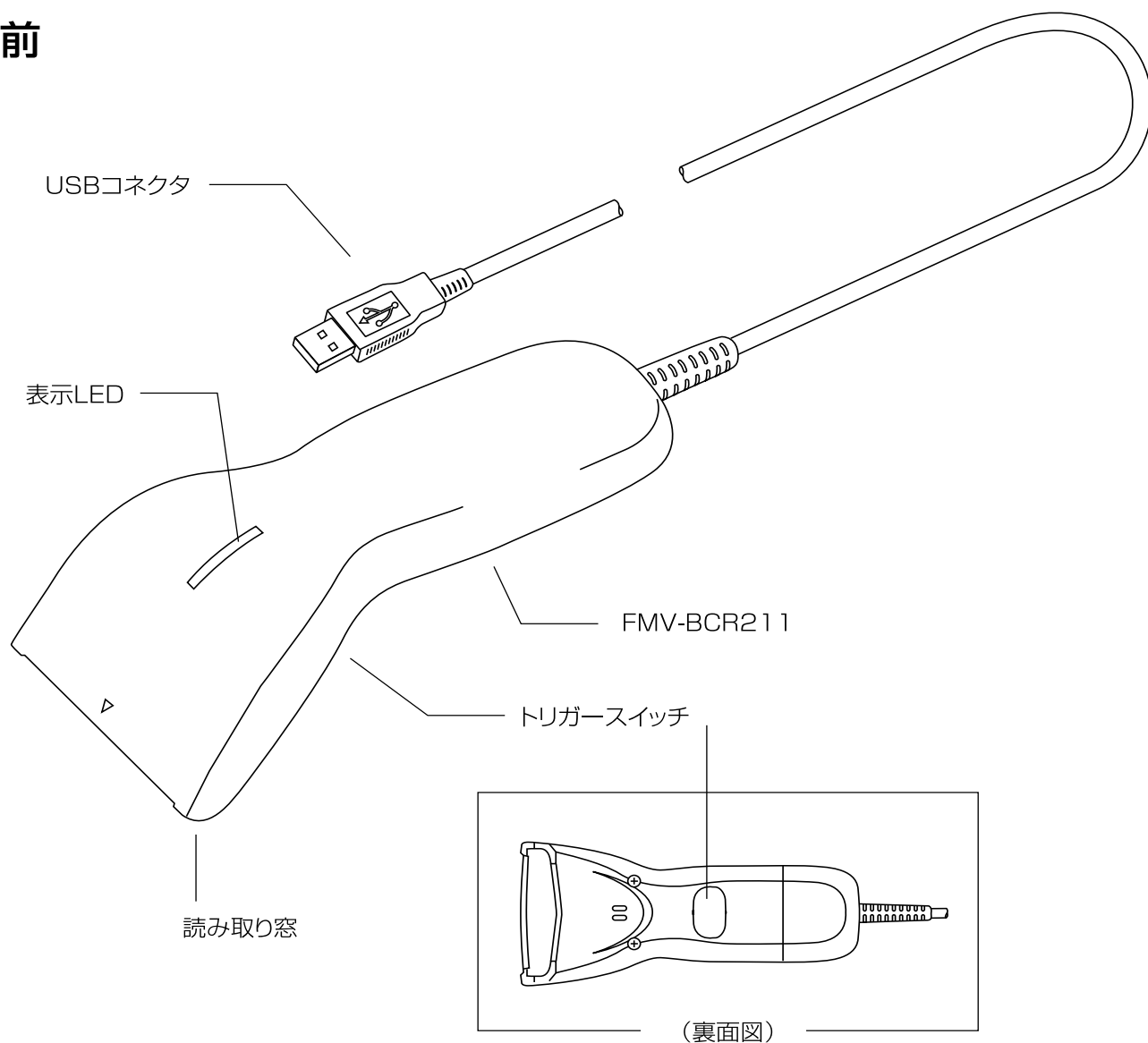
1.梱包物の確認

箱の中には下図のものが収納されています。
すべてそろっていることを確認してください。

バーコードリーダー(1個)	取扱説明書(本書) 保証書 バーコード設定プレート
	取扱説明書 (本書) 保証書 バーコード 設定プレート

万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2.各部の名前



3.動作環境

本バーコードリーダは、次のシステムおよび環境でご使用になれます。

対応OS: Microsoft® Windows® 98 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 日本語版
Microsoft® Windows® ME 日本語版
Microsoft® Windows® XP 日本語版

対応PC: 富士通FMVシリーズ

(デスクトップ/マイクロタワー/ミドルタワー/コンパクトPC/プリシェ)

FMVデスクトップシリーズ システム構成図[ハードウェア編] 参照

富士通FMVシリーズ(BIBLO)

FMV-BIBLOLIFEBOOK/FMV-BIBLO システム構成図[ハードウェア編] 参照

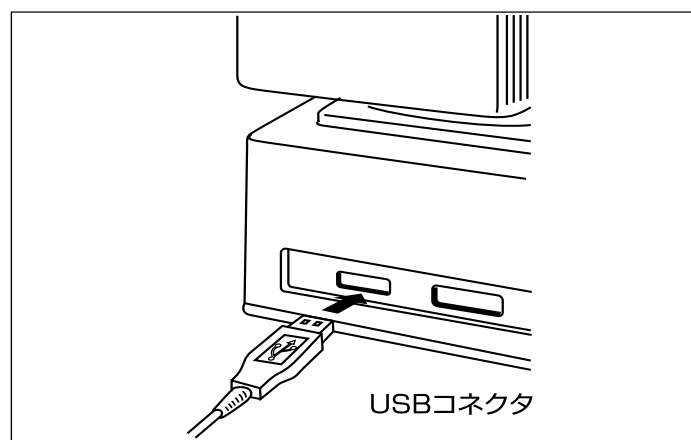
●本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows® 98 Operating system 日本語版は Windows 98、
Microsoft® Windows® 2000 Operating system 日本語版はWindows 2000、
Microsoft® Windows® Me Operating system 日本語版は Windows Me、
Microsoft® Windows® XP Operating system日本語版はWindows XP と表記しています。

本装置動作中は、パソコンをスタンバイまたは休止状態に移行させる操作をしないでください。
上記操作を行った場合、正常な動作が保証されなくなるおそれがあります。

4.接続

バーコードリーダが
パソコンに接続されていないことを確認し、
パソコンの電源を入れておきます。
バーコードリーダのUSBコネクタを
パソコンのUSBコネクタに接続します。



コネクタは接続する向きが決まっています。ご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。
正しく接続してください。

バーコードリーダが、プラグアンドプレイ機能によって検出されます。

続いてドライバがインストールされます。

CD-ROMの挿入を求められた場合、CD-ROMを挿入し、CD-ROMの指示に従ってください。

◆留意事項

パソコンのUSB機器の認識および削除に数秒から10秒程度かかる場合があります。

したがって、USBコネクタの挿抜は10秒以上の間隔をあけて行ってください。

パソコンの電源がONの状態でもUSBコネクタ挿抜は可能です。

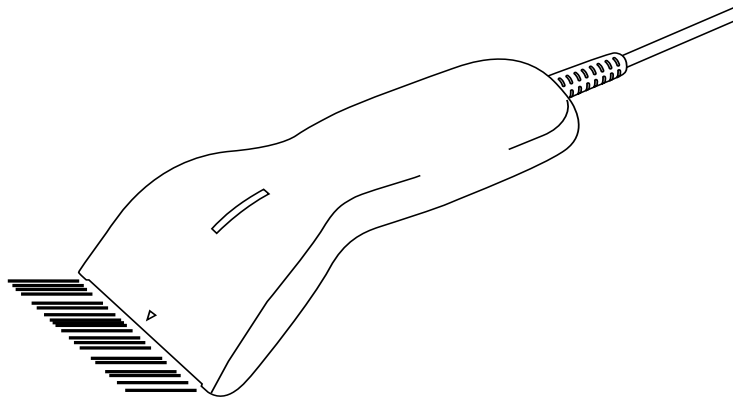
ただし、パソコンがスタンバイ(サスペンド)中には、USBコネクタの挿抜は行わないでください。
バーコードリーダの接続処理中に他のUSB機器の着脱を行わないでください。

5.操作方法

(1)操作方法

下記の手順に従いバーコードを読み取らせてください。

① 読み取り窓の位置を下図のようにしてバーコードに近づけます。



② バーコードリーダの握り部の裏側にあるトリガースイッチを押してください。

③ バーコードを自動的に読み取ります。

ブザー音と表示LEDにより読み取りの完了を確認してください。

- 正常読み取り時：ブザー短音鳴動(ピッ)、表示LED緑色点灯
- 読み取りエラー時：ブザー長音鳴動(ピーッ)、表示LED赤色点灯

(2)読み取りについての注意(オートオフモード時)

- トリガースイッチを一度押すと照明用LEDが点灯し読み取り可能状態になります。

バーコードの読み取りを完了すると、読み取り待機状態に戻ります。

※トリガースイッチを押した後、バーコードを読み取らせずに約5秒間が経過した場合は自動的に読み取り待機状態に戻ります。

- 直射日光のもとや非常に明るい場所では読み取りできないことがあります。
- バーコードは左右逆向きにしても読み取れます。
- バーコードラベルはできるだけ平にしてください。

また、汚れているラベルは、きれいにしてください。

※感圧紙を使ったバーコードやコピー機で複写したバーコードラベルは読み取り性能低下の原因になることがありますのでお避けください。

(3)使用上のご注意

- バーコード読み取り中にはケーブルを抜かないでください。

バーコード読み取り中にケーブルを抜いてしまった場合は、パソコンを再起動してから、読み取りを実行してください。

- ハブ接続をする場合、USBでは5段までの直列接続ができますが、実際の運用では2段までの直列接続でご使用になることを推奨します。

(4)清掃について

読み取り窓は常にきれいな状態でご使用ください。

なお清掃の際には乾いた布で拭くようにしてください。

水および水性の溶剤やアルコールやシンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。

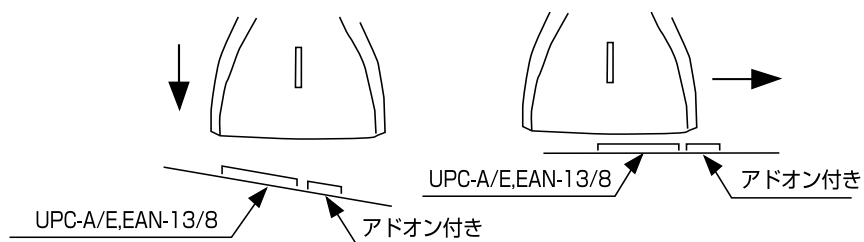
※内部保守の必要はありませんので、決して分解をしないでください。

UPC/EANアドオン付きの読み取りに関する留意事項

バーコード設定プレートで、UPC/EANアドオン付きを「読み取る」設定にした場合、下記についてご注意ください。

(1) 読ませ方について

UPC/EANアドオン付きコードを読ませるときは、下図に示すようなバーコードの当て方をしないでください。このような読ませ方をすると、アドオン付きコード部分を認識できず通常のUPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8コードと認識してしまうことがあります。



(2) 読み取りスピードについて

UPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8とUPC/EANアドオン付きコードが共に読み取り許可されているときは、バーコードリーダーはアドオン付きコードの有無をチェックしてからデータを転送します。従って、UPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8とUPC/EANアドオン付きコードが共に読み取り許可されている場合は、UPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8のみ許可されている場合と比較して、通常のUPC-A,UPC-E,EAN-13,EAN-8の読み取りスピードはこのアドオンの有無をチェックする時間だけ遅くなります。それ以外の場合の読み取りスピードは、読み取り許可されたコードの種類及びその数、バーコードの桁数、バーコードの印刷状態などにより異なります。

6. 設定手順

FMV-BCR211はバーコードの種類や各機能等の設定を付属のバーコード設定プレートのメニューを読み取ることで選択することができます。初期設定以外の機能で使用する場合は、電源投入後に付属のバーコード設定プレートのメニューを読み取り設定を行ってください。

(手順) 1. 設定開始コードを読ませてください。



読み取り確認LEDが赤色点灯します。(断続ブザー3回鳴動)

2. 設定コードを読ませてください。



読み取り確認LEDが約1秒間 赤から緑に変わります。(ブザー1回鳴動)

3. 設定終了コードを読ませてください。



読み取り確認LEDが消灯します。(断続ブザー3回鳴動)

4. 設定した動作になります。

※全ての設定を初期設定☆印に戻すには下記の手順でバーコード設定プレートのメニューを読み取らせてください。

設定開始→初期化→設定終了

※バーコードメニュー設定中は3分以内に次のバーコードを読み取らせてください。

3分を過ぎるとスキャナは長音ブザーを鳴らし全てのメニュー設定をキャンセルし自動的に設定前の状態に戻ります。

7.バーコード設定プレートの説明

- C/D有で読み取る …………… 所定のチェックディジットの計算でチェックを行い、正しい場合のみ読み取ります。
- C/D無で読み取る …………… チェックディジットもデータとして読み取ります。従ってチェックディジットは確かめません。
- NW-7スタート・ストップチェック…チェックする場合、スタート・ストップキャラクタが同じ文字の時のみ読み取ります。
- 英文字モード …………… 本体の表示文字モードは英大、英小のいずれかに限られます。
- 改行キー …………… 読み取ったデータの最後に終端コードを付加するか否かの選択を行ないます。
- 出力バーコード種別 …………… 出力する場合、データの後にバーコードの種別コード(文字)を付加します。
JAN-8、EAN-8=1
JAN-13、EAN-13=2
UPC/A=3、UPC/E=4
CODE-39=5、NW-7=6
STF=7、ITF=8
CODE-93=9、CODE-128=A
※UPC/EANアドオン付きのコードマークはUPC/EANとそれぞれ同一です。
- 連続読み取りモード …………… 電源投入後、常時読み取り可能状態となり、トリガスイッチの操作は不要です。
但し、読み取り窓にバーコードを当てたまま電源を投入した場合、そのバーコードを読み取ることはできません。
この場合、いったん、バーコードからバーコードリーダを遠ざけた後、再度、バーコードに近づけると読み取ることができます。
- 出力モード …………… キーライクモードの場合、キーボードと同等の動作で出力します。
※専用モードの場合、キーライクデータの前にバーコードデータ抽出用ヘッダが付加された形式で動作します。
- 初期化…………… 読み取りコード設定、機能設定を☆印の状態に戻します。
- ※テストバーコード …………… 設定内容の確認用にご活用ください。

8.仕様

項 目	仕 様
バーコードの種類	JAN、EAN、UPC、NW-7、CODE-39、Interleaved 2 of 5、CODE-93、Standard 2 of 5、CODE-128、UPC/EANアドオン付き
バーコードの長さ	61mm以下(左右マージンを含む)
バーコードの桁数／倍率	NW-7:スタート／ストップコードを含み最大32桁 CODE-39:スタート／ストップコードを除き最大25桁 Interleaved 2 of 5:スタート／ストップコードを除き最大48桁 CODE-93:スタート／ストップコードを除き最大37桁 Standard 2 of 5:スタート／ストップコードを除き最大28桁 CODE-128:スタート／ストップコードを除き最大30桁
	JAN 標準、EAN-13桁、UPC/A: 基準寸法(0.33mm)の0.8～2.0倍 JAN 短縮、EAN-8桁、UPC/E: 基準寸法(0.33mm)の0.8～2.0倍 UPC/EAN 5桁のアドオン付き: 基準寸法(0.33mm)の0.8～1.1倍 UPC/EAN 2桁のアドオン付き: 基準寸法(0.33mm)の0.8～1.3倍
PCS値	0.45以上
分解能	0.15mm
読み取り角度傾斜	縦方向:0～20° 横方向:0～3°
節電機能	読み取りスイッチ(トリガースイッチ)
読み取り確認方法	表示LED(赤、緑)、ブザー
電源	パソコン本体より供給(DC5V)
消費電流	100mA以下
寸法・重量	72(W)×160(D)×60(H)mm ケーブル長:約2.0m 約190g(ケーブル含む)
温度条件	0～40℃
湿度条件	10～90%RH(結露してはならない)

9.アフターサービス

故障・修理に関するお問合せ先

法人のお客様

富士通ハードウェア修理相談センター

 **0120-422-297**

個人のお客様

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口

 **0120-950-222**

技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口

 **0120-950-222**

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- お問合せ時間 9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)
- システムメンテナンスの為、サポートを休止させていただく場合があります。

■保証について

- 本製品に添付されている保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間はご購入日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

バーコードタッチリーダ(FMV-BCR211)取扱説明書

B1FY-7621-04

発行日 2004年5月 発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

テスト バーコード



JAN-13



JAN-8



CODABAR
(NW-7)



CODABAR
(NW-7) C/D 付



CODE-39



CODE-39 C/D 付



Interleaved 2 of 5



Interleaved 2 of 5
C/D 付

テスト バーコード



Standard 2 of 5



Standard 2 of 5
C/D 付



CODE-93



CODE-128



EAN-13 2 add on



UPC-A 5 add on

BAR-CODE MENU

for FMV-BCR211

設定手順

設定開始

電源を ON して設定
開始コードを読み取
って下さい。

(断続ブザー鳴動, 赤色表示LED点灯)

読み取りコード 機能コード

トリガスイッチを押
して設定コードを読
み取って下さい。

注：3分以内にバーコードを読
み取らせないと自動的に設
定前の状態に戻ります。

(ブザー鳴動, 緑色表示LED点灯)

設定終了コード

設定終了コードを読
み取って下さい。

設定終了(断続ブザー鳴動, 表示LED消灯)

バーコード設定プレート
454893-1891

設定開始



初期化



すべての項目☆印に戻す

設定終了



読み取りコード設定

CODABAR(NW-7)



☆C/D 無で読み取る



C/D 有で読み取る

CODABAR(NW-7)のチェック方法



☆7 チェック(aa, bb チェック)



モジュラス 16

CODABAR(NW-7)スタートストップチェック



チェックしない



☆チェックする

CODABAR(NW-7)スタートストップ出力



☆出力しない(データ部のみ)

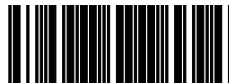


出力する(データ部を含む)

CODE39



☆C/D 無で読み取る



C/D 有で読み取る

Interleaved 2 of 5



☆C/D 無で読み取る



読み取らない

Standard 2 of 5



☆C/D 無で読み取る



読み取らない

CODE93



読み取る



☆読み取らない

CODE128, EAN-128



読み取る



☆読み取らない

UPC/EAN アドオン付き



読み取る



☆読み取らない

C/D:チェックデジット

機能設定

チェックデジット



出力しない



☆出力する

読み取り確認のブザー



鳴らさない



☆鳴らす

英文字モード



英小モード



☆英大モード

改行キー



付加しない



☆付加する

出力モード



☆キーライクモード



専用モード

キーボード選択



☆106 キー



101 キー

出力バーコード種別(読み取りコード番号)



出力しない



☆出力する

トリガスイッチモード



☆オートオフモード



連続読み取りモード

読み取りコード設定

- ・キーライクモードまたは、専用モードで切替可

機能設定

- ・出力バーコード選別は、キーライクモードのみ切替可
- ・その他機能設定は、キーライク・専用両モードで切替可

☆印は初期化

JAN、EAN、UPC、CODABAR(NW-7)、CODE39 常に読み取り可